

京都市立美術工芸高等学校 卒業生インタビュー

平成31年卒業
デザイナー、イラストレーター

深谷 はるの

「私は美工でたくさんの
”好き”に出会えました」



夢中になれる時間の連続でした

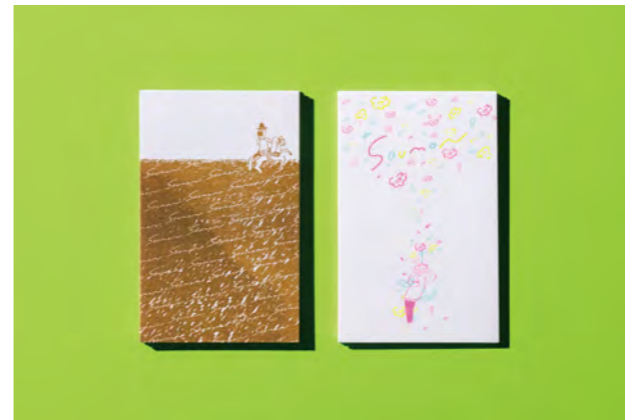
幼い頃から、何かを作ることや、サプライズで誰かを喜ばせることが大好きな子どもでした。紙や空き箱を使って遊んだり、仕掛けのあるカードを友達の誕生日に贈ったり、お菓子のパッケージやかわいいチラシを集めるのが日常でした。そんな中で、「アートやものづくりを専門に学べる高校がある」と知り、迷わず美術工芸高校への進学を決めました。

美工での3年間は、まさに“夢中になれる時間”の連続でした。絵を描いたり、立体を作ったり、いろんな表現に触れながら、自分の「好き」が少しずつ明確になっていきました。進級するにつれ、グラフィックやプロダクトなどさまざまな専攻を経験する中で、どれも楽しくて一つには絞りきれないほどでしたが、共通して心を惹かれたのが「デザイン」でした。

誰かのために考え、形にしていくその姿勢に強く惹かれ、「デザインに関わることを学んでいれば、どんなジャンルにも関わることができるかもしれない」と思い、3年次からはデザインを専攻することにしました。

高校卒業後は、デザインの専門学校に進学し、現在はグラフィックとWEBのデザインを手がける仕事をしています。

最初に入った制作会社では、印刷物だけでなくWEB制作も担当する必要がありました。当初は「コードを意識してデザインするなんて無理」と苦手意識がありましたが、ホームページづくりは単に情報を載せるだけでなく、お客様の“世界観”を伝える大事な役割があると気づいたことで、WEBデザインの見方が変わりました。



人と関わっていく社会生活でも大切な力

今では、「WEBは訪れた人にとっての第一印象になる、大切なツールなんだ」と感じています。紙もWEBも、それぞれに魅力があり、今ではどちらも誇りをもって取り組んでいます。

その一方で、学生時代から続けているイラストの制作も、わたしにとって大切な表現のひとつです。デザインの仕事は“誰かのために考える”こと。一方で、イラストは自分の中から湧き上がる感情や世界を自由に表現できるもの。その両方を続けることで、わたし自身のバランスが取れていると感じています。

実は、今でもイラスト制作を続けている背景には、美工での授業の経験が大きく影響しています。当時デザイン専攻で絵本を作る課題があり、自分でストーリーを考え、イラストを描き、印刷所で印刷し、一冊の本として完成させるというものでした。たしかベースはイソップ寓話で、そこから自分なりに物語をアレンジし、まったく新しい作品に仕上げました。自分の手で最初から最後まで形にできた喜び、そして展覧会で作品を発表し評価してもらえた経験は、今でも自信となって心に残っています。その当時あれだけのことを好きにやらせてくださった先生には本当に感謝しています。

その経験から美工最後の卒業作品展でも私は、三年間学んできたデザインの力を活かしつつ完全オリジナルの絵本制作に挑戦しました。それは、今の「デザインとイラストの両立」というスタイルの原点だったように思います。

社会人になって改めて感じるのは、美工で学んだことの大きさです。特に印象に残っているのは、「手を動かしながら考えることの大切さ」と「人の良いところを見つけて、それを言葉にして伝える力」です。これらはデザインの

現場だけでなく、人と関わっていく社会生活でも大いに役立っています。

デザインの仕事は、「カッコよく見せる」ことがゴールではありません。相手の想いや目的をしっかりと受け取り、それを一番伝わるかたちに変えていく。そのためには、まず手を動かしてアイデアを描いてみることで、そして相手の気持ちになって考える“やさしさ”や“思いやり”がとても大切です。

だからこそ、紙とペンがさえあれば、どこにいてもアイデアを生み出せる。そんなシンプルだけど奥深いところが、わたしがこの仕事を好きな理由のひとつです。

あなただけの「好き」がきっと見つかる

中学生のみなさんへ

美工は、ただ技術を身につける場所ではありません。自分の「好き」と真剣に向き合い、同じものづくりやアートが好きな仲間と共に成長していける、とても特別な場所です。制作がうまくいかないこともあるかもしれませんが、でも、失敗の中には必ず発見があって、それがあなた自身の「表現」になっていきます。

わたしは美工で、作品づくりの楽しさ、人と協力することの大切さ、そして「自分を信じて挑戦する力」を学びました。あの3年間があったからこそ、今こうして社会の中でデザインの仕事を続けられているのだと思います。

もしあなたが「何かを作ること」が好きなら、その気持ちをぜひ大切にしてください。そして、美工であなただけの「好き」を見つけてください。そこから、あなたの未来はきっと大きく広がっていきます。

